

青山学院大学 物理・数理学科 コロキウム

2018年度 第5回

下記の通りコロキウムを企画致しました。学生や分野の違う方にもわかるレベルから始めて下さるようお願いしてあります。どなた様もご自由に是非ご聴講ください（事前参加登録なし）。

（世話人：山本 大輔、連絡先：d-yamamoto@phys.aoyama.ac.jp）

講演者 須藤 靖氏 (東京大学大学院 理学系研究科)

日時 10月11日（木） 午後4時45分から

場所 青山学院大学 理工学部 L棟6階 L603室

講演題目 系外惑星とバイオシグニチャー

1995年に初めて発見された太陽と似た星の周りの系外惑星は、今では約4000個が知られるようになっていきます。その中には、ハビタブル惑星と呼ばれる、表面温度が摂氏0度から100度の範囲であると推定され、もしも大量の水が存在しているとすれば液体の海が存在するかもしれない岩石型惑星も数10個発見されています。むろん実際に海が存在することが証明された例はありませんが、仮にそのような惑星があるとすれば、そこに生命が存在する可能性もあります。現在はまだ困難であろうと、そのような惑星を遠方から観測することで何らかの生命の兆候（バイオシグニチャー）を検出できないものか。これは、天文学者の共通の夢の一つです。我々は植物の葉っぱが示すレッドエッジと呼ばれる普遍的な特徴を利用したリモートセンシングの可能性を調べています。今回は、かなり将来の研究になるとはいえ、人類のもっとも根源的な問いである地球外系外生命の真面目な探査法を紹介したいと思います。
